

答え合わせ・解説

問1	答え 2 百まで	「三つ子の魂百まで」の続きは「百まで」です。意味は「幼い頃の性格や性質は、年をとっても変わらない」です。
問2	答え 1 ある人に見捨てられても、他の誰かが助けられるものだ	「捨てる神あれば拾う神あり」は「ある人に見捨てられても、他の誰かが助けられるものだ」という意味です。
問3	答え 2 仏	「知らぬが仏」の続きは「仏」です。意味は「知らないでいれば、心穏やかでいられるということ」です。
問4	答え 2 どんな場所でも、住み慣れてしまえば居心地が良く感じられるものだ	「住めば都」は「どんな場所でも、住み慣れてしまえば居心地が良く感じられるものだ」という意味です。
問5	答え 1 居ぬ	「鬼の居ぬ間に洗濯」の「居ぬ」の部分が入ります。意味は「怖い人がいない間に、のびのびとくつろぐこと」です。
問6	答え 4 縄	「泥棒を見て縄を絢う」の「縄」の部分が入ります。意味は「事が起きてから慌てて準備をすること」です。
問7	答え 2 牡丹餅	「棚から牡丹餅」の「牡丹餅」の部分が入ります。意味は「思いがけない幸運が舞い込んできくこと」です。
問8	答え 4 藍より青し	「青は藍より出でて藍より青し」の続きは「藍より青し」です。意味は「弟子が師匠よりも優れていること」です。
問9	答え 1 鷹	「鷹が鷹を生む」の「鷹」の部分が入ります。意味は「平凡な親から、優れた子供が生まれること」です。
問10	答え 2 馬	「塞翁が馬」の「馬」の部分が入ります。意味は「人生の幸・不幸は予測できず、変化しやすいものだ」です。
問11	答え 1 不正な手段で得た金は、すぐに使ってしまう残らない	「悪銭身につかず」は「不正な手段で得た金は、すぐに使ってしまう残らない」という意味です。
問12	答え 1 小	「大は小を兼ねる」の「小」の部分が入ります。意味は「大きいものは小さいものの代わりにもなるので、役に立つ」です。
問13	答え 3 仕損じる	「急いては事を仕損じる」の続きは「仕損じる」です。意味は「急いで物事を行うと、かえって失敗しやすいので落ち着いてやるべきだ」です。
問14	答え 3 時期を逃してしまい、手遅れであること	「後の祭り」は「時期を逃してしまい、手遅れであること」という意味です。
問15	答え 1 習わぬ経を読む	「門前の小僧習わぬ経を読む」の続きは「習わぬ経を読む」です。意味は「いつも見聞きしていると、自然と知識が身につくということ」です。
問16	答え 3 勝てぬ	「泣く子と地頭には勝てぬ」の続きは「勝てぬ」です。意味は「道理の通じない相手や権力者には、何を言っても無駄なので従うしかないということ」です。
問17	答え 1 嫁に食わすな	「秋茄子は嫁に食わすな」の続きは「嫁に食わすな」です。意味は「秋の茄子は体を冷やすので、子供を産む大切な嫁の健康を気遣う気持ち」です。
問18	答え 2 泥鰌	「柳の下の泥鰌」の続きは「泥鰌」です。意味は「一度うまくいったからといって、二度目も同じようにうまくいくとは限らないということ」です。
問19	答え 2 大怪我のもと	「生兵法は大怪我のもと」の続きは「大怪我のもと」です。意味は「中途半端な知識や技術で物事を行うと、かえって失敗や大きな損害を招くこと」です。